

平成30年度 百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	家庭・子どもの発達と保育	学年	第3学年	教科書	実教出版「子どもの発達と保育」
		単位数	2単位	副教材	

学習目標	乳幼児の発達の特徴を理解し、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得する。 乳幼児の健全な成長に関心を持ち、乳幼児にかかわる意欲や能力、実践的な態度を身に付ける。
------	---

学習方法	○授業において課題に対して自ら考え、また周りの生徒と共同で考える活動を行う。 ○乳幼児の食育における調理実習で調理技術や乳幼児の食事に関する技術と知識を習得する。 ○実習で養護の基本技術を習得する。 ○グループワークを通してコミュニケーション力を習得する。
------	---

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	a	関心・意欲・態度	子どもの身体的・精神的発達や保育に関して、関心を持ち、それらを意欲的に学ぶ姿勢が見られる。		
	b	思考・判断・表現	子どもの発達や保育に関わる幅広い知識を身に付け、子どもの発達、行動、感情、生活などについての理解を深めることができる。これらに関する自身の考えを表現できる。		
	c	技能	子どもの発達や保育に関わる事柄について、実習や観察を通じて知識を深めることができ、子どもを取り巻く問題について推測・考察ができる。		
	d	知識・理解	子どもの発達や保育に関する幅広い知識を習得し、子どもの行動や生活に関する基本的な事項が理解できている。		

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
					a	b	c	d		
前期	子どもの発達の特性	14	発達と乳幼児期の意義 発達と保育環境	子どもの発達	○	○	○	a人間の発達に関して興味・関心を持ち、特に乳幼児期の発達についての概略を学ぼうとする意欲がみられる。 b現代における発達観を考慮し、その方向性を判断することができる。 c自分自身がどのような児童観・発達観を持っているか客観的に分析・考察し、学習の動機づけとすることができる。 d人の一生を生涯発達ととらえ、その中でも特に乳幼児が大切な時期であることを理解している。	・ワークシート ・授業態度観察 ・実習作品 ・実習レポート ・テスト	
				乳幼児期の特徴		○	○			
				発達と保育環境のかかわり	○		○			
				こんにちの児童観・発達観	○		○			
前期	子どもの発達の過程	14	子どもの発達と精神発達 人間関係の発達 保育園実習	胎児・乳幼児の発達と特徴	○	○		a新生児期から乳幼児期までの身体的・生理的・精神的な発達の特徴について、意欲的に理解しようとする。 b子どもの発達には、人々との関わりを中心に様々な条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考察することができる。 c乳幼児の発達の観点から、子どもの行動などを見て、子ども特有の行動パターンや感情表出などが推察でき、子どもの行動を理解することができる。 d新生児期から乳幼児期までの発達の特徴を知識として習得し、それらを子どもとの関わり方に応用することができる。	・ワークシート ・授業態度観察 ・実習作品 ・実習レポート	
				運動・感覚機能・知的・言葉・情緒発達		○	○			
				愛着関係の形成		○	○			
				人間関係と子どもの人格形成	○		○			
後期	子どもの生活	18	生活と養護 子どもの遊びと生活習慣の形成 保育園実習 健康管理と事故防止	生活と健康栄養と食事	○		○	a子どもの生活全般について広く関心を持ち、理解しようとする態度が見られる。 b子どもにとっての適切な生活の条件について思考し、子どもの養護全般について応用することができる。 c子どもの生活を養護するために必要な技能を実習を通して身に付けている。 d子どもの生活全般において、子どもが健康で安全に生活するために必要な、知識と技術を具体的な方法として身に付けている。	・ワークシート ・授業態度観察 ・実習作品 ・実習レポート ・保育園実習	
				生活と遊び遊びの援助		○	○			
				生活習慣とその意義		○	○			
				健康管理と看護・予防 事故防止と処置	○	○	○			
後期	子どもの保育・福祉	18	保育の意義と重要性 家庭保育と集団保育 保育の方法 子どもの福祉と子育て支援	人間形成と保育	○	○	○	a子どもを保育する意義について学ぼうとする意欲が見られ、人権の観点から、児童福祉に関する考えについて興味・関心を持っている。 b集団保育・家庭保育において、子どもの適切なかかわり方について理解を深めることができる。 c保育園や幼稚園の訪問を通じて、子どもの生活や行動などを観察し、客観的に分析できる。 d保育の意義や重要性について理解ができるとともに、児童福祉の考え方やそれに関わる制度を知識として習得している。	・ワークシート ・授業態度観察 ・実習作品 ・実習レポート	
				家庭保育 集団保育	○	○				
				保育者の役割と指導のポイント	○		○			
				児童福祉の理念 子育て支援の課題		○	○			
合計時数(55分授業)		64								